

# SEISHO HIGH



星翔高等学校同窓会 平成17年9月1日発行 No.7

## 星翔高等学校 浪工会会報 SCHOOL



### 平成17年度 同窓会総会 懇親会お知らせ

平成17年10月16日(日)18時より  
場所：ホテル日航茨木大阪（旧いばらき京都ホテル）



平成15年度総会の様子



### CONTENTS

|                                          |     |
|------------------------------------------|-----|
| 会長・理事長・校長ごあいさつ                           | 2～3 |
| インタビューVoice.1<br>「カラオケの父」 井上 大佑（昭和34年卒）  | 4   |
| インタビューVoice.2<br>「当期業績の統括」 野路井 達（昭和40年卒） | 5   |
| 会則・役員                                    | 6   |
| 各クラブの近況報告                                | 7～8 |
| INFOMATION                               | 8   |

浪工会事務局 〒566-0022 摂津市三島3丁目5番36号  
TEL.06-6381-0220 FAX.06-6383-4822  
印刷：（有）プリンティングサービス

# いあいさつ

浪工会会長

## 行澤 勇

(昭和30年・電気科卒)

高温多湿の候も過ぎ、しのぎよい季節となつてまいりました。浪工会会員の皆様には、益々ご健勝にて、各界でのご活躍のこととお慶び申し上げます。

本会では、数年前より2年に一度、校外にて総会・懇親会を行つております。今回、期日は十月十六日(日)、会場は前回と同じ「ホテル日航茨木大阪」(旧茨木京都ホテル)に決定しました。当ホテルは、母校に近く、会員各位もこの地域周辺に多数おられ、また、新進の卒業生数人が、ホテルマンとして活躍している所で、ここでの開催は三回目となりました。

これまでは各回とも、会員の皆様が多数参加していただき、盛会裏におわつていきます。今回も、

何かとご多用とは思いますが、日ごろ親交を深めておられる同級生、同じ職場やクラブ活動を通じての先輩後輩の皆様にも、お声をかけていただき、お誘いあわせの上、前回をうわまわるご出席を賜りますよう、お願い申し上げます。

さて、前会長瀬川昭氏は、平成十五年までの四十数年間の長期にわたり本会を支え、多大の功績を残されました。さらに、現在は理事長として、母校の発展に尽力されています。

二年前に私が、この会長の重責を引き継ぎましたが、なにごと未熟と能力不足のために、会員の皆様に対して、ご期待にそえないところが多々あったことと存じます。今後も、微力ながら、頑張つていきたいと思つておりますので、より一層のご協力をお願い申し上げます。

かつて、母校の創設者は工業教育を柱とし、世が求める有為な社会人、高度な技術者としての人材育成、を教育目標に設立されたと聞いております。これ

までの卒業者数は二万数千人を超え、多くの同窓がその期待にこたえて、多方面で活躍しております。

しかし、われわれを取り巻く社会情勢は、バブルに端を発した経済・景気の低下・わが国に特に顕著な少子化現象に影響され、私立学校の経営は、困難きわまりない状況下にあります。



母校におきましても、経営基盤を強化するため工業教育一本から、現在は普通科・国際科を増設して、総合的な教育の場として発展しつつあります。

ここで、最近の母校の移り変わりをごたつてみますと、今年は大安校長が勇退されました。先生は山本校長のあと、平成八年より校長の任務に就かれましたが、今思うと、山あり谷ありの

九年間だったと思います。今後は常務理事として、瀬川理事長と共に学校運営にあたられ、また同窓会顧問として、私たちとのパイプ役になつていただけるものと期待しています。

さらに今年度より、楠本義一氏を新校長に迎え、少子化現象、公私間・私学間の生徒獲得競争の激化に生き残りをかけ、教職員が一体となつて、懸命の取り組みをされています。同窓会としても、学校や保護者会との連絡を密にして、母校の方針や諸事業に、惜しまず協力していくつもりです。会員の皆様におかれましても、厳しい日と優しい日の両面から見守つていただき、貴重なご意見を賜りたいと願っております。

末尾になりましたが、久々の「同窓会報」第七号発刊にあたり、公私ご多忙中にもかかわらず、原稿・インタビューに快く応じていただきました方々、その後の編集にたびたび集まつて、ご尽力いただきましたスタッフの皆様、に厚くお礼申し上げます。

## 中山浪工学園理事長 瀬川 昭

(前浪工会会長)

初秋の候、朝夕めつきり凌ぎやすくなつてまいりましたが、同窓会の皆様方におかれましては、各界ですますご活躍のこととお慶び申し上げます。平素は学園の、また本会の充実と発展のために多大なるご支援ご協力をいただき、まことにありがとうございます。本会も会員数2万人を誇る大きな組織となりました。ひとえに皆様方のご尽力のたまものにはなりません。この場をお借りして、厚くお礼申し上げます。

さて、本校も中山・浪工学園星翔高等学校と校名変更して早10年を迎えます。その間も今日に至るまで保護者や生徒のニーズに 대응べく、学園充実のため様々な改革を続けて参りました。本年平成17年度には工業科一括募集をスタートさせ、工業科生徒各人の個性と志向に合わせる事が出来るように工業科の学科選択の幅を広げました。平成18年度か



らのカリキュラムでは、普通科1年次より進学コースと標準コースを設置し、大学進学希望者にとつて、より学習しやすい環境を整備し、



進学指導を充実させることが決定されました。さらに平成15・16年度募集を一時停止いたしておりました国際科が新たにスポーツコースとして募集を再開。現代社会に通用する国際感覚を身につけ、運動能力の伸張を図り、大学進学を目指すコースとして設置されます。また、これら普通科・国際科の両学科に女子を受け入れるべく、その態勢づくりも進められております。

クラブ活動の面でも、生徒達は近年めざましい活動を展開しております。平成16年度、運動部では、硬式野球部が大阪工業高等学校野球大会優勝、近畿大会出

場常連のバレーボール部が全国高校選抜優勝大会大阪予選ベスト8、卓球部が近畿大会2年連続出場（出場通算30回以上）、インターハイ協賛大会準優勝、柔道部が全国大会大阪府予選北地区優勝・大阪府高等学校総合大会（81kg）準優勝、バスケットボール部が大阪総体兼インターハイ大阪予選第8位、ラグビー部が大阪高等学校総合体育大会（10人制）優勝、ソフト

ならず、常に豊かな人間形成を目指し、生徒一人一人を大切にすること、びの場であり続けることを標榜いたしております。何卒、かくなる趣旨をご理解いただき、今後とも、益々のご支援を心よりお願い申し上げます。上げる次第でございます。

星翔高等学校校長

## 楠本 義一

テニス部が大阪府高等学校春季大会（個人）第3位など、今後さらなる活躍が期待されています。一方、文化部でも電気自動車研究部がエコデレース全国大会決勝全国66位、電子機械研究部が全日本ロボット相撲近畿地区大会でラジコン型の6台のうち3台を2回戦に進出させるなど、健闘しております。生徒諸君の活躍と健闘を讃え、とともに、関係者の方々のご尽力、ご努力に惜しみない敬意と感謝の念を捧げたいと存じます。

学校法人中山浪工学園星翔高等学校の同窓会の皆様方、および在校生と保護者の皆様方、本校は、生徒の勉学、スポーツの向上のみ

同窓会の皆様方には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は本校のためにいろいろとご尽力とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。さて本校は3年後の2008年に創立70周年を迎える私学の伝統校であります。本校の歴史は工業教育を中心に発展してまいりました。しかし昨今では、進学希望者も増加し、それに対応できる教育の再構築が必要になってまいりました。そこで、平成18年度の生徒募集から普通科に進学コースと標準コースの2コースと国際科にスポーツコースの2科3コースを設け、男女共学で進学体制を整えました。これ

で従来の工業4科を含め6科3コースの総合高校と成りました。平成18年度からの生徒募集は各学科コースの設置目的を明確に打ち出していますので、自分の将来をしっかりと見据えています生徒にとりましては、自己の目標に沿ったよき教育を受容することが出来ます。例えば中堅大学以上の文理系の進学を目指す生徒は普通科進学コースを、文系大学及び工業系ライセンス取得を希望する生徒は標準コースを、文系及び体育系大学を目指す生徒は国際科スポーツコースを、ものづくりに興味があり、機械や電子・電気のエンジニアを希望する生徒には、機械・



電子機械・電気・電子の各工学科を選びとることにより、生徒自らの進路実現が可能になります。また、本校は同窓会の皆様のご存

知の通り、挨拶の励行や丁寧な言葉遣い・日常生活のマナーや読書の礼儀作法にも学校教育の中で実践教育を行っています。以上述べました教育すなわち「ていりつ鼎立成りて、せきりょう碩量育くむ」の教育を文字通り実践しています。三本足で立っている中国の鼎かまどという器はどの足が欠けても立つことは出来ません。教育も知育・徳育・体育の三本足が揃ってはじめて、心が広く優れた人材が育つのです。本校の教育は鼎が立つごとく三位一体のバランスのとれたよき教育を今後も提供してまいります。良き教育を受けた生徒は、良き人生を得ることになります。私たち教職員は、生徒の皆さんに良き人生を送っていただくために精選した教育を実践し、次代を担う人材を育成してまいります。今後とも力の限り、創立70周年を3年後に迎えるにあたり、星翔高等学校の歴史に恥じることのなきよう高校教育に二

路邁進いたしますので、同窓会の皆様方のご支援・協力・ご鞭撻の程をお願い申し上げます。

# インタビュー Voice.1

米国イグ・ノーベル賞受賞

## カラオケの父

井上 大佑 (いのうえ だいすけ)

(昭和34年・電気科卒)

### カラオケの誕生

日差しが強い甲子園口に気さくなおじさんが小生をわざわざ迎えにきてくれました。さつそくおじさん運転の車に便乗し、とある事務所へ招かれました。

このおじさんこそ、毛沢東、ガンジー、昭和天皇等と共に米誌「TIME」の「今世紀もつとも影響力のあったアジアの20人」に選ばれた井上大佑氏でした。

忙しいなかを母校のためということで2時間におよぶ時間をさいいただき、インタビューに応じていただきました。(インタビュー・二村)

中学時代からろくに勉強もせず、浪工が僕を拾ってくれたことに非常に感謝しています。にもかかわらず高校時代は、バンド活動で小金儲けに夜遅くまで全精力をかけたむけていたので、学校には眠りに行くようなものでした。調子に乗って博打に手を出し暴力団に追われ西成に姿を隠したこともありました。しかし、持ち前の「小商い」の

才でカラオケを生み出した。最初の数回はカラオケの取り付けを自分でしたが、配線のミスで危うく感電という憂き目にあつてからは、取り付けは全て私以外の従業員が代行したものです。浪工の電気科卒業の面目丸つぶれというところです。それともう一つ、よく言われるんですが、新案特許を何故とらなかったのかと。テープやデッキもアンプもみんな基からあったもの、それを新しい形に再利用しただけで発明なんて思いもしなかったです。

### ゴキブリ駆除機の販売

カラオケの一番の強敵はねずみやつたんです。あいつらに配線を噛まれて、よく機械をこわされた。この悔しさをヒントに「ねずとらん」というねずみを寄せ付けないためのブレードを考案した。同様にゴキブリ駆除機もその延長線です。困ったことに如何に立ち向かい、小商いに繋げるか、それが僕の真骨頂です。

### 電解水成器「水革命21」

現在は電解水成器の販売を主業務としています。合成洗剤や化学薬品を使わず清潔な暮らしが出来るとしたら素晴らしいことです。安全で人畜無害の電解洗浄液がかけがいのない地球を守ります。この事業に携わったのも、孫のアトピーで苦しむ姿を目の当たりにして、何とかしてやりたいと同時に、これまた、小商いに繋げることを考えたわけです。

### 最終目標は「老後を愛犬と暮らす」

僕はカラオケ事業の一線から退いた後「うつ病」になったんです。そのとき、ドンベエ(ラブラドル犬)にであつたんです。彼とのふれあいの中でその素晴らしさというか、面白さや深さを発見していつか、僕は凝り性なほうで、彼にのめりこんだおかげで回復したんです。これからは、社会にベッタリと生活するための仕組みそのものが必要となってくるはず。僕の切なる希望でもあり生涯の夢でもあるのですが、イギリスの国家資格を持った専門家を招いて、日本でも、介護犬やケア犬のトレーナー養成事業をしたいと



### 井上 大佑 (いのうえ だいすけ) プロフィール

1940年生まれ。全国カラオケ事業者協会相談役、日本レスキュー犬協会設立に参加。浪速工業高校時代からバンド活動でドラムを叩く。1971年カラオケを発売し事業化で一時代を築く。1999年タイム誌にアジアの偉業を成し遂げた人物としてとりあげられる。現在はカラオケ設備の天敵であったゴキブリ駆除機の販売、家族のアトピーがきっかけで環境志向の電解イオン液の生成器、重曹電解洗浄液の販売事業などを手がける。有限会社イノウエ代表取締役、株式会社ジェイワン会長。2004年度米国イグ・ノーベル賞受賞。半生の映画化が決定、現在公開中。





# インタビュー Voice.2

行澤会長、橋本先生、写真右（野路井氏の高校時代の担任）と小生の三人で天神橋の本社を訪ねてまいりました。  
お忙しい身であるにもかかわらず、社長自らが1階のショールームにて、エスベックの業務内容を、事細かくパ



野路井社長

行澤会長

橋本先生

## 外部評価(会社プロフィール)

- 1997年 公益信託「エスベック地球環境研究・技術基金」を設置
- 2002年 環境報告書賞 優良賞受賞
- 2004年 第13回地球環境大賞
- 2004年 日本工業新聞社賞受賞
- 2004年 ワールド・ソーラーカー・ラリー 2004クラス優勝
- 2005年 第3回日本環境経営大賞
- 2005年 環境経営優秀賞受賞



ワールド・ソーラーカー・ラリー2004



運動会(昭和38年)

# 挑戦し続ける歴史

エスベック代表取締役社長

野路井 達

(昭和40年・機械科卒)

## 母の教え

ネルを指差しながら「説明くださいました。」  
さすが環境試験機器世界トップに君臨するだけあって、自社への厚い情熱がひしひしと伝わってきました。

小さい頃から母が買い与えてくれた本、「十五少年漂流記」や「家なき子」「リア王」「レ・ミゼラブル」などの小説を読みふけて心躍らせたものである。この読書によって自身の「夢」が大きく膨らんだのが、今の原点になっていると思う。入社当時は30歳までに10000冊を読もうという目標をたて8000冊を看破した。この頃から私の未来への目標意識、自己への挑戦癖が形成された。

## 文集「たけのこ」の編纂

浪工在学時は3年間学級委員をした。ずば抜けた才能もなかったが、人をまとめ何かを成し遂げることは得意であった。運動会での仮装行列のアイデア、応援

合戦のリード等で自分の存在をアピールできたのかなとは、今になって思う。当時では珍しい文集なるものを起案したのも記憶に新しい。いま読み起こすと、随分興味深い。私の文集のタイトルは「我々は浪工生だ」である。級友の文章を読むと「浪工生」にもどる。いまでも大切に保管している。

## 人を磨き自分を磨く

浪工から田葉井製作所(現エスベック)に入社し、資材課に配属。当初2年間は大阪工業大学の夜間に通った。しかし営業課に移り学業との両立を断念せざるを得なかった。ゴールデンウィークに佐渡への自転車一人旅。片道600キロの道のりを5日間で走破した。完走した達成感が、学業への未練を吹っ切らせ、仕事へ没頭することになる。

24歳から2年間、入社内定の大學生の夏季研究を担当した。各人に合わせた研究内容を考え指導した。その中の一人は研究リポートをそのまま大学の卒論にした。こうした指導力が認められ経営管理室に席を移した。44歳で営業担当の役員になる。そして若い頃やに残した大学卒業に再チャレンジし日本大学経済学部(通信教育課程)を無事卒業にこじつけた。54歳

で常務から社長に就任。主要商品の環境試験機器は、電子部品や精密機器、自動車部品などの工業製品の信頼性を高めるため、温度、湿度、圧力などの環境ストレスを与え、試験・評価・分析するものだ。社長就任時の年商は260億円。「これを10年間で1000億円のグローバルカンパニーに」、そして「社員が主役の企業に」と目標を立てた。それに向けた研究開発や海外展開、環境経営も重要だが、番力を注いでいるのは人材の育成だ。

「会社は結局、人です。若い人にも志をもってもらい、グローバルに活躍できる場を与える。人を育てることに尽きます。」現在も社長通信「すめーる」で毎週6000字にわたる文章を社員に発信し、また少人数の「社長懇談会」と称して社員の意見をトップ自らが頻繁に聞き、全社員の意見を聞く耳を持つ、近來希なる経営者といえるでしょう。

## 「チヨウ気持ちいい」をサポート

アテネ五輪の日本のメダルラッシュをサポートした機器の一つにエスベック社の低酸素トレーニング室が挙げられる。男子平泳ぎの2冠 北島康介選手や女子800メートル自由形金メダリストの柴田亜衣選手らが練習した。

# 浪 工 会 会 則

## 【第1章】 総 則

### 第1条 (名称)

本会は、「浪工会」と称する。

### 第2条 (事務局)

本会の事務局は摂津市三島3丁目5番36号 母校、星翔高等学校内におく。

### 第3条 (目 的)

本会は会員相互の親睦をはかり、併せて母校の発展に寄与・貢献することを目的とする。

### 第4条 (事 業)

本会はその目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 総会の開催
- (2) 名簿及び会報の発行
- (3) 母校発展に寄与する事業
- (4) 学校教職員、役員の慶弔その他
- (5) その他必要な事業

## 【第2章】 会 員

### 第5条 (会員の定義)

本会は、次の会員で組織する。

- (1) 正会員 旧制浪速工学校、浪速工業学校、浪速工業高等学校併設中学校と定時制の卒業生、及び星翔高等学校並びにかつて在学した者で、委員会の承認を得た者。
- (2) 特別会員 母校に勤務している教職員及び旧教職員。

### 第6条 (義 務)

本会の正会員は入会金・会費を納入する。また、会員は異動があったとき事務局へ届け出る。

## 【第3章】 役 員

### 第7条 (役員と定数)

本会に次の役員をおく。

- |         |     |          |     |
|---------|-----|----------|-----|
| (1) 会 長 | 1 名 | (2) 会長代行 | 1 名 |
| (3) 副会長 | 若干名 | (4) 会 計  | 2 名 |
| (5) 幹 事 | 若干名 | (6) 書 記  | 4 名 |
| (7) 監 査 | 2 名 |          |     |

### 第8条 (役員の任期)

本会の役員の任期は次の通りとする。

- (1) 役員の任期は2年とし、留任を妨げない。
- (2) 役員に欠員が生じたとき、それに応じて補充することができる。但し、その任期は前任者の残任期間とする。

### 第9条 (役員・委員の選出)

本会の役員・委員の選出は次のように行う。

- (1) 会長、副会長、会計、監査、幹事、書記は、推薦または正会員から選出する。
- (2) 委員は各学級から1名選出し任期は定めず、欠員が生じたときは当該学級から補充する。

### 第10条 (役員・委員の任務)

本会員の役員の任務は次の通りとする。

- (1) 会長は本会を代表し、会務を統括する。但し、会長代行を置くことができる。
- (2) 会長代行は会長を補佐し、会長が支障ある時は職務を代行する。

(3) 副会長は会長・会長代行を補佐し、それぞれが支障ある時は職務を代行する。

(4) 会計は本会の会計事務を行う。

(5) 監査は本会の会務・会計を監査する。

(6) 幹事は会務を執行する。

(7) 書記は役員会・委員会その他の記録をとる。書記の内1名を事務局長とする。

(8) 委員は委員会を構成し、会務を審議する。また、同級生との連絡に当たる。

### 第11条 (名誉会長・顧問・相談役)

(1) 名誉会長 星翔高等学校長とする。

(2) 相談役 歴代会長とする。また、本会旧役員及び特別会員の中から役員会で推薦する。

(3) 顧問 歴代理事長・校長とする。

(4) 相談役は役員会に出席して意見を述べることができる。

## 【第4章】 会 議

### 第12条 (総 会)

本会の総会は隔年ごとに開き、会務・会計を報告し、会員相互の親睦をはかる。但し、必要に応じて臨時総会を開催することができる。

### 第13条 (委員会)

本会の最高議決機関として案件の審議、議決に当たる。

(1) 会長以下すべての役員・委員で構成する。

(2) 委員会は必要に応じて開催することができる。

(3) 委員会では、事業計画、予算・決議、会則の変更、その他の必要事項を審議、議決する。

(4) 議決は出席者の過半数をもって決定する。

### 第14条 (役員会)

本会の執行機関として会務の実行に当たる。

(1) 会長、会長代行、副会長、会計、幹事、書記、監査で構成する。

(2) 本会の運営上、必要に応じて随時これを開く。

(3) 緊急の事項あるときは役員会により決議することができる。

### 第15条 (運営委員会)

本会の事業を推進するため、運営委員会をおく。

(1) 運営委員は役員の中から会長が委嘱する。

(2) 運営委員は重要会務に関して会長の諮問に応じる。

## 【第5章】 会 計

### 第16条 (会 計)

本会の経費は、本会員の入会金・会費及び寄付金その他の収入をもって充てる。但し、臨時会費は別に徴収することができる。

### 第17条 (会計年度)

本会の会計年度は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

## 【第6章】 補 則

### 第18条 (慶弔)

学校教職員、役員等の慶弔事及び学校教職員退職に関する規約は別にこれを定める。

(付則) 本会則は平成11年5月1日より施行する。

# 浪 工 会 役 員

|     |                         |                           |                       |                         |                                                                                                                                            |     |                           |                             |                           |                                                                                                                                                            |
|-----|-------------------------|---------------------------|-----------------------|-------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|---------------------------|-----------------------------|---------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 顧 問 | 水 山 大 楠 橋 久 行 小 岸 中 岡 橋 | 野 本 安 本 川 本 富 澤 林 田 谷 田 本 | 達 茂 義 義 一 克 貞 太 喜 重 孝 | 夫 雄 彦 昭 己 実 勇 夫 弘 夫 雄 治 | 元校長<br>元校長<br>前校長<br>校長<br>理事長・昭和20年機械科<br>昭和24年機械科<br>昭和27年機械科<br>昭和30年電気科<br>昭和28年機械科(定)<br>昭和28年電気科<br>昭和31年電気科<br>昭和38年電気科<br>昭和44年機械科 | 会 計 | 中 小 鈴 恩 林 酒 中 佐 畑 大 高 久 山 | 井 川 木 庄 俊 義 美 正 清 正 勝 真 保 本 | 東 章 寿 治 晟 明 泰 巳 年 馬 和 護 甫 | 昭和38年電子科<br>平成6年電子機械科<br>昭和27年電気科(定)<br>昭和35年電気科<br>昭和37年機械科<br>昭和45年電気科<br>昭和60年機械科<br>昭和47年電気科<br>昭和53年機械科<br>平成1年電子科<br>平成7年電子科<br>昭和37年機械科<br>昭和40年機械科 |
|-----|-------------------------|---------------------------|-----------------------|-------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|---------------------------|-----------------------------|---------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

### 【硬式野球部】

今年度は春季大会3回戦、今現在は7月9日開幕する全国高校野球大会大阪大会に向け、日々練習しています。本校は2回戦より出場し、初戦7月18日高槻北高校と対戦します。その後新チームになり、9月より秋季大会が始まります。今後とも応援の方をよろしくお願い致します。

### 【バドミントン部】

現在部員5名ですが、場所等をうまく利用して一生懸命がんばっています。大会参加し上位入賞を目標に努力しています。



## 各クラブの 近況報告

7月8日現在  
部員数・戦績・  
発表会など

### 【図書部】

図書部の日常の活動は、図書館でのカウンターでの図書館を利用する生徒へのサポートが主な内容です。また、読書をすすめるために、不定期に図書部発行の新聞を出しています。星翔祭では、今までに図書部主催のクイズ大会等を実施しました。

### 【ソフトテニス部】

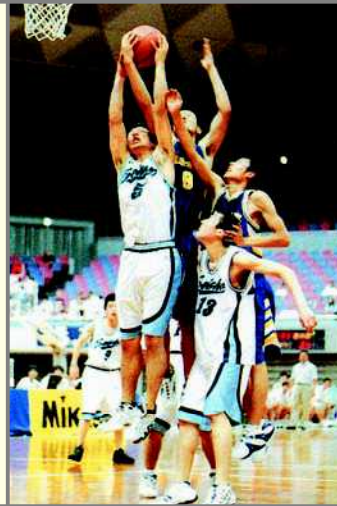
部員数3年1名、2年4名、1年14名。新人戦(個人戦)が10月8日(土)服部コートで、総体(団体戦)が10月29日(土)に開催の予定です。

### 【山岳部】

現在、山岳部は、1年生2名、2年生2名、3年生3名、顧問4名。夏期や春・秋(春・秋については、まだまだ定着していませんが、)の合宿には、OBたちも加わり一段と賑やかになります。平日は毎週、月曜日と木曜日の放課後に校内練習、土日を使っての月1〜2回の日帰り山行を基本に活動を続けています。何とか月例山行2回を定着させたいと考えています。さて、1学期末考査も終わり、今年も夏合宿を迎えるシーズンになりました。合宿前の強化練習に入ります。今年は8月1日〜8月5日、奈良県の洞川温泉を起点に稲村ガ岳を中心として大峰の山々に挑戦する予定です。また、山岳部の素敵な思い出を1ページ増やせるにちがいありません。

### 【音楽部】

音楽部は3年生を中心に毎日練習に励んでいます。この夏休みも秋の星翔祭のステージを目標に一生懸命練習したいと思っています。



### 【バスケットボール部】

昨年度はインターハイ予選で大阪8位という戦績を残せたのですが、今年度は満足のいく結果が残せておりません。部員数は3学年合わせて25名と少ないのですが、皆で声を出し、次大会上位進出を目標にがんばっております。今後ともご声援よろしくお願い致します。

### 【新聞部】

休部中です。部員がそろえば活動して行きたいと思います。

### 【アーチェリー部】

現在、アーチェリー部は2年、3年生がいなく、1年生6人でクラブ活動を行っています。7月までの公式試合には参加できませんでしたが8月17日の大阪私学大会、18日大阪総体に参加予定です。会場も本校なので、準備もあり大変ですが、試合で良い成績が出せるよう毎日練習を積んでいます。また、お近くに寄られた折には応援よろしくお願い致します。生徒・顧問とも頑張っていきたいと思います。



### 【柔道部】

平成16年度までに計6回近畿大会団体戦に出場し、個人も男女、合わせて5人が出場しております。部員は3年4名、2年1名、1年4名の9名です。来年は女子の強化を考えております。

### 【剣道部】

現在1年生6名(経験者3名)のみで練習に励んでいます。団体が組めないの、なんとか初心者を試合に出場できる状態にして、11月の新人戦に久し振りに出場することを目標にしています。

### 【卓球部】

現在卓球部は13人で活動しています。昭和60年頃の全盛期とは比較にならない程、根性ある部員はいませんが、今どきの子らにしては熱心に日々練習して、毎年大阪ではベスト8(ほぼ25年くらいは)で近畿大会には出場しています。ただ経験不足もありなかなか近畿大会では少しも勝てない有り様です。もし機会があれば、OBの方々に練習をつけていただければ幸いと思って臨んでおります。

### 【星翔イングリッシュ部】

現在部員数0で活動ができていない状態です。英語が好きで、又英語に興味ある人、星翔イングリッシュに参加したい人は、LL準備室原田のところまで来てください。

### 【陸上部】

部員は2年生5人、1年生3人の計8人です。全国大会に出る生徒はいませんが、個人でベスト記録をだす為に日々頑張っています。今後の予定は10月29日(土)・30日(日)大阪高校秋季大会があります。

### 【サッカー部】

昨年、一昨年と部員不足で公式戦もままならない状況でしたが、今年度は12名の進部員を迎え、日々練習に励んでいます。少しでも良い戦績が残せるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。

### 【囲碁・将棋部】

部員6名ですが実質2名の活動になっており、9月にある摂津市民大会に出場する予定です。

### 【機械研究部】

数年前に、生徒が製作した5インチゲージのミニ電車を使い、今年度も5月8日に摂津市主催のこどもフェスティバルに参加し約500名のこどもたちにミニ電車に乗車してもらい、楽しい一日を過ごしました。今後の予定はもう一台5インチゲージのミニ電車を時間をかけて製作する事になっています。また、11月5日の星翔祭でも校内で運転する予定になっています。

### 【電研部】

部員数6名。戦績2004年エコデレース2台参戦。結果(66位、81位) 摂津市教育委員会より毎年参加依頼がある、こどもフェスティバルにバッテリーカーを展示。多くのこども達に試乗を提供し、好評です。

### 【美術部】

少人数ですが日々創作活動に励んでおります。今春は美術系大学へ2名が進学しました。



### 【写真部】

2年生1人で阪急電車を中心に  
して撮影しています。

### 【ラジオ・テレビ研究部】

3年生3人で今年の星翔祭の企  
画中です。

### 【電子機械研究部】

毎年9月にロボット相撲大会に  
出場しています。昨年は6台中3台  
が2回戦で敗退しました。今年は8  
台の出場を予定しており「全国大会」  
出場を目標に頑張っております。



### 【バレーボール部】

バレー部の信条である「信頼・  
団結・闘志」をモットーに浪浪時代  
より日々努力して来ました。

平成10年より全国大会にも出  
場できるようになり、春高バレーに2  
回、夏のインターハイに1回と全国  
へも進出できるようになりました。  
また、大阪代表として近畿大会へ  
も昭和55年以降今年度も含めて2  
6年連続出場を果たしています。

今後も顧問・部員一同、努力、精  
進して大阪の上位校として活躍し  
て頑張りますので応援よろしくお  
願いします。現在の部員数は26名  
です。

### 【人権教育研究部】

現在、部員がおらず、休眠中で  
すが、入部希望者はいつでも大歓  
迎です。部としてはいつでも出動  
準備完了です。

### 【ラグビー部】

平成17年、第60回大阪高等学  
校総合体育大会、ラグビー10人制  
の部優勝。平成17年度大阪私学  
高校7人制ラグビーフットボール  
大会、4・5位グループトーナメント  
(9月3日(土))に向け練習中。部  
員が減ってきましたが、応援よろ  
しくをお願いします。



## 同窓会総会・懇親会について

- 費用／7,000円(平成16・17年卒は5,000円)  
同封の振替用紙(総会懇親会用)にてご入金下さい。
- 納入期限／平成17年9月20日(出欠のはがきもこの日までにご投函下さい。)

### 平成17年度同窓会総会・懇親会 案内図



### ●編集後記●

十数年ぶりに同窓会報の発刊にこぎつけることができました。今回は、急なことだったので、十分な資料も集めることができず、皆様にご満足いただけるかどうかはわかりませんが、今後、何とか継続発刊ができるよう努力しようと考えております。次号以降は皆様の声を「メールボックス」として掲載したく思っております。同封の返信ハガキをご利用の上、クラス会での報告、ご自身の近況、同窓会への意見、ご要望等ジャンルを問わずお知らせ願えればと、切に希望いたしております。  
(運営委員会)

### ●同窓会賛助金●

久々の同窓会報の発刊に思いきって踏み切りましたが、な  
にぶん、発行資金の捻出に苦慮しております。継続して発刊  
できるよう、会員の皆様方のご協力をお願いする次第でござ  
います。つきましては、同封の振替用紙にてご入金賜ります  
ようよろしくお願い申し上げます。

1口 1,000円(何口でも結構です)